

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (<i>Methicillin-Resistant-Staphylococcus aureus</i> :MRSA)疫学解析 (倫理委員会承認番号: 435)
当院の研究責任者 (所属)	国保君津中央病院 医療技術局 臨床検査科 臨床検査技師 加地 大樹
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	臨床微生物チュートリアル有志参加施設 13 機関
本研究の目的	<p>薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランは、薬剤耐性の発生を遅らせ、拡大を防ぐために国を挙げて取り組む政策で、2016 年に策定されました。薬剤耐性菌の中でもメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (<i>Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus</i>:MRSA) は医療関連感染を起こす代表的な菌であり、院内で分離される耐性菌として最も分離頻度が高いことが知られています。また、MRSA はこれまでに日本を席卷していた院内感染型 hospital-associated methicillin-resistant <i>S. aureus</i> (HA-MRSA) に代わり、市中感染型 community-associated methicillin-resistant <i>S. aureus</i> (CA-MRSA) が外来のみならず、入院例でも急速に増えており MRSA の疫学が大きく変貌しつつあります。従来少ないと思われていた CA-MRSA の白血球溶解毒素 (Panton-Valentine leukocidin:PVL) 産生株の増加など、CA-MRSA の分布状況も変わりつつありますが、その実態はまだ明らかとはなっていません。この研究では、関東甲信地区で分離される MRSA の分子疫学的調査を行い、その実態を明らかにしていきます。</p>
調査データの 該当期間	2018 年 9 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで
研究の方法 (対象となる方)	2018 年 9 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日までに共同研究機関において血液培養および皮膚軟部組織培養より検出され、菌株保存されている MRSA

	<p>対象とします。自施設で遺伝子検査を実施し、MRSA の SCC<i>mec</i> type や毒素遺伝子検査を確認します。データのみを情報管理責任者（国保君津中央病院 医務局 検査管理科 検査管理科部長 須田 純夫）に送付し、共同研究機関における CA-MRSA/MRSA の割合、毒素遺伝子型の頻度、薬剤感受性検査のデータを解析します。</p>
<p>研究の方法 (使用する情報)</p>	<p>情報: 診療録情報、培養検査データ 試料: 菌株</p>
<p>資料・情報の他機関 への提供</p>	<p>この研究は、多施設共同研究として、以下の共同研究機関で実施されます。</p> <p>この研究で使用する試料・情報は、すべて各機関においてオプトアウト（通知又は公開と拒否する機会の提供）により入手し、匿名化されたデータです。</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>研究資金</p> <p>本研究は、臨床微生物チュートリアルから費用からの試薬提供（研究用試薬の提供）を受けて実施する。</p> <p>利益相反</p> <p>本研究は、臨床微生物チュートリアルからの試薬提供（研究用試薬の提供）を受けて実施するが、臨床微生物チュートリアルは、研究の計画、実施、解析、報告に関与しない。本研究の計画・実施・報告において、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利害の衝突」は存在しない。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>国保直営総合病院 君津中央病院 医療技術局 臨床検査科 加地 大樹（研究代表者） 〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010</p>

	TEL:0438-36-1071(内線 3342) FAX:0438-36-8457
備考	